

JAえんゆう広報誌

# ひざし

2021 1

No. 263

謹賀新年

# ひざし

## 2021. 1月号 No.263

### 今月の主な記事

#### ◎新年のご挨拶

えんゆう農業協同組合

代表理事組合長 中川 菊夫… 2

網走農業改良普及センター遠軽支所

支所長 小川 邦彦… 4

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 小野寺俊幸… 5

JAえんゆう青年部

部長 福島 達也

JAえんゆう女性部

部長 松浦三代紀… 6

◎JAグループ通信…………… 7

◎一日皆貯金当選者発表…………… 8

◎トラブル回避の基礎知識…………… 9

#### ◎令和3年度

営農計画書作成協議日程について…………… 10



今月号の「いもたま作造くん」  
はお休みさせていただきます。

「クロスワードパズル」「当選者発表」

「読者の声」は休載させていただきます。

# 組合長新年のご挨拶

えんゆう農業協同組合

代表理事組合長

中川 菊夫



組合員の皆様、並びにJA役職員の皆様におかれましては、ご家族の皆様と共につつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
昨年は世界中で新型コロナウイルスが感染拡大し、日本全国、北海道においても感染拡大が続き、外出自粛ムードが浸透し、観光業の起爆剤と期待されていたGOTOトラベルも昨年末一時中止になるなど、賑わいのない年末となりました。

当地域の天候を振り返りますと、融雪は三月下旬から進み、四月下旬は晴天が続いたことで春耕作業は順調に進みました。五、六月は寒暖差が激しく、雨は周期的によく降り、六月後半は曇天と雨が続き日照不足が心配されました。七月は低温の続く日もありました。総じて夏らしい気温で、一番牧草の収穫は予定通り終了し、八月は30℃前後の気温の日が多く、玉葱収穫は順調に始まり、九月上旬まで残暑が続き、中旬以降秋らしい気温になり、雨が近

い天候ではありませんでしたが、収穫が滞るほどでもなく、デントコーンの収穫も予定通り始まり、十月は朝晩にわか雨が多かつたものの、日中は気温が高めであった事もあり、収穫作業は無事に終了しました。総じて、雷や強い雨が多く多湿な条件で、作物の肥培管理に苦労された事と思えますが、豊作の年となり組合員皆様の営農努力に改めて敬意を表するところです。  
畑作の状況につきましては、播種移植作業終了後から六月下旬までは、曇天と寒い日が多く日照不足による生育障害が心配されましたが、その後天候は持ち直し、二年続けての豊作となりました。平均反収では、小麦平年7・

# 謹賀新年

令和3年 元旦

えんゆう農業協同組合

代表理事組合長 中川 菊夫  
代表理事専務 菅井 誠  
理事 箭内 秀幸

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
城岡 情野 古関 高橋 横尾 岡和田 八巻 阿部 関口 菅井 中川  
克利 修 則一 敬貴 俊雄 博 武則 和彦 哲治 秀幸 誠 菊夫

8俵に対して7・9俵、玉葱昨年4・2基に対して4・8基、甜菜昨年4・8トに対して6・1ト糖度16度、馬鈴薯昨年3トに対して3・3ト、ブロッコリー昨年795kgに対して905kg、南瓜、スイートコーン、大豆、青シソについても昨年作以上となりました。しかし、甜菜は終盤に雨が多かった事と温暖であった事で糖度が低く、また玉葱については、新型コロナウィルスにより外食産業需要が大きく低迷したことで、荷動きが鈍く価格も安くなっており、感染拡大の早期の収束を願うところです。

また、酪農については、当JAの乳価は加工原料乳補給金等を含め税込で102円、十一月末出荷乳量が前年同月比102・66%と順調な増産になっています。一方で、個体販売価格は全畜種平均して値下がりし、特に肉用子牛は新型コロナウィルスの影響で枝肉価格が下落しているのを受けて、前年を下回る状況になっており、ここでも感染拡大の早期収束を願うところです。昨年の粗飼料は、五月に降雨量が多く、七月九月は好天に恵まれ適期に収穫できた事で、牧草は生収量・乾物収量共に平年を上回り、デントコーンも生収量・TDN収量は昨年を上回り、質量ともに申し分なく生乳増産につながる事が期待できます。

JAの哺育育成センター建設計画につきましては、建設運営委員会・酪農部会にて、必要性・施設規模等について協議検討し、十二月に補助事業申請をいたしました。完成稼働は令和五年春を目標にしており、飼養管理施設や労働力不足という課題解決に向けて、貢献できるものと考えています。また、昨年は「組合員一斉訪問」を開催し、

多くのご意見等を頂くことができましたし、外勤機会の少ない部署の職員には良い刺激になりました。今後も回を重ねて、組合員サービス向上と組合運営に反映していきたいと考えております。

一方、農政につきましては、TPP11を始めとした各貿易協定の影響を懸念しておりますが、収束が見えない新型コロナウィルスは、貿易協定を遥かに超える影響を与え、国内生産の農畜産物についても引き合いが弱くなり、販売価格を押し下げました。また、昨年十二月の加工原料乳生産者補給金の価格交渉は、動力光熱費と配合飼料価格が減少したことと生産費が下がり、補給金単価の低下要素になりましたが、集送乳調整金は運送経費が上昇していることを考慮され、結果として同額の上げ下げになり、合算すると十円八十五銭と実質据え置きとなったことは、酪農家の生産意欲に直結することであり、併せて、人材確保に苦慮している酪農ヘルパーの待遇改善対策が新たなメニューとして追加されました。課題となっており、脱粉バターの在庫とコロナ禍での処理不可能乳を回避するための出口対策、国産チーズ対策や畜産クラスター事業は第三次補正予算で対応される見通しです。生乳生産は、全道においても102・5%と増産基調になっており、需給調整はホクレンが指定団体の機能を発揮し、全量販売安定供給に寄与しています。残念ながら道内において、いわゆる「いいとこどり」が発生し、これに対して「原則生乳取引の申し出を拒否できる全道ルール」が決められ、この四月より運用開始となります。

畑作関係では、青果関係を中心にコ

ロナ対策の補助金が複数措置され、次期支援助交付金については、公表後の交付要件が途中で変更になり混乱を招きました。追加予算が決定し着地点が見えたのではないのでしょうか。

昨年九月に菅義偉首相に変わり、米大統領選ではトランプ氏が敗戦したこと、TPP11と日米貿易協定に新たな不安を抱くところではあります。JAグループ北海道は農業に対する影響の検証と万全な国内対策を講じるよう、政府・与党に働きかけをして参ります。

規制改革推進会議では、引き続き農協改革の着実な推進として、農業者の所得向上に向けた実施状況を引き続き点検していくとしており、春には見直し時期を迎えます。また、信用事業は将来に亘る健全性について注視されており、当JAも信用事業収支を保持するため、JAバンク基本方針に則った検討を始めなければなりません。前回JA大会で決議されました「協同の力で農業所得増大と多様な担い手の確保・育成」を実践するためにも、強固な経営で、皆様が安心して営農できる環境づくりを目指してまいります。本年も特段のご協力とご理解をいただき、ありがとうございます。

今年も特段のご協力とご理解をいただき、ありがとうございます。今年も特段のご協力とご理解をいただき、ありがとうございます。今年も特段のご協力とご理解をいただき、ありがとうございます。

<b>酪農専門部会</b> 部長 秋葉 宏之 副部長 緑川 将仁		参事	岡村 貴幸	代表監事	石田 佳宏
		監事	高橋 淳	常勤監事	馬場 秀人
<b>ビート専門部会</b> 部長 工藤 茂樹 副部長 高嶋 慎一		参事	城岡 克利	代表監事	佐藤 直行
		監事	岡村 貴幸	常勤監事	馬場 秀人
<b>ブロッコリー専門部会</b> 部長 藤井 和人 副部長 平野 寿雄		参事	山口伸太郎	代表監事	石田 佳宏
		監事	山口伸太郎	常勤監事	馬場 秀人
<b>玉葱専門部会</b> 部長 井上 靖 副部長 山田 忍		参事	山田 忍	代表監事	石田 佳宏
		監事	山田 忍	常勤監事	馬場 秀人

# 新しい年を迎えて

網走農業改良普及センター遠軽支所 支所長 小川 邦彦



新年明けましておめでとうございます。令和三年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

農業者、関係機関の皆様には平素より農業改良普及事業の推進に對しまして深いご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年の本道農業を振り返りますと、天候は期間を通して少雨傾向にありましたが、比較的に穏やかに推移したことに加え、大きな災害も無く経過したことにより、水稻をはじめ多くの作物で平年作を上回りました。

一方、府県に目を向けると七月には西日本から東北地方の広い範囲で記録的な大雨となり、河川の氾濫などが相次ぎ、各地に大きな農業被害をもたらしました。被災地、被害に遭われた方にお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興、経営再建をお祈り申し上げます。

J A えんゆう地域の気象経過と農作物の作況を振り返りますと、気温は春先は低く推移しましたが、その後気温も上がり暖候期を通して平年より高く推移しました。降水量は平年より少な

く、日照時間は平年並みかやや多い状況でした。

作物別にみますと、秋まき小麦の生育はほぼ平年並みに推移しました。収穫作業はやや遅れましたが、子実収量は歩留まりも高く、平年を上回りました。てんさいの移植、直播栽培のは種作業は順調に進みました。その後、適度な降雨もあり活着、生育ともに良好に推移し、根重は平年を大きく上回り、糖分は平年並みでした。

たまねぎの移植作業は順調に進み、活着も良好でした。気候が少雨傾向で推移したため、干ばつ気味となりかん水も行われました。収量は平年並み、品質も良いことから製品率も高まりました。

飼料用とうもろこしについては、は種時期の晴天に恵まれ、作業は順調に進みました。夏場の高温で登熟が進み、生収量は平年より多く、TDN収量は大幅に増加しました。

牧草（一番草・二番草）の生育は平年並みに推移し、収量も平年並みを確保できました。農業をめぐる情勢では、農家戸数の

減少や高齢化、労働不足などの課題に加え、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛や各主イベントの中止、観光客の減少などにより、農畜産物や加工品の需要の低下、外国人実習生の確保ができないなどの課題に直面しています。また、近年多発する台風などの自然災害に対しても備えを強化する必要があります。

一方で、本年は第六期北海道農業・農村振興推進計画や第八期北海道酪農・肉用牛生産近代化計画などの策定年にあたります。

これを機に改めて地域の現状や課題を見つめ直し、生産基盤の確立はもとより、多様な担い手の育成・確保、スマート農業の推進など農業生産力の向上や農村の活性化に向けた取組を推進していくことが重要です。

普及センターとしても生産者や関係機関の皆様と連携し、地域の農業振興を目指した取組を積極的に進めてまいります。

最後になりますが、本年の豊穡の秋とご家族の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 小麦専門部会

部 会 長 花木 慶喜  
副 部 会 長 前島 英樹  
岡村 英巳

## 南瓜専門部会

部 会 長 中川 悠一  
副 部 会 長 笹原 仁

## 農機推進委員会

部 会 長 松浦 亮太  
副 部 会 長 菅井 美徳  
鹿野 憲嗣

## えんゆう農協青年部

部 会 長 福島 達也  
副 部 会 長 小倉 広嗣  
長谷川雄基

## えんゆう農協女性部

部 会 長 松浦三代紀  
副 部 会 長 松田美由紀  
北村 広子



# 令和3年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 代表理事会長 小野寺 俊 幸



新年あけましておめでとーございます。  
組合員並びに役職員の皆様には、コロナ禍にあってもその苦境にも負けず、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しても、改めて敬意と感謝を申し上げます。  
昨年の北海道農業は、米の作況指数が106の「良」、畑作物については収穫時期に一部地域に降雨による影響が見られたものの、平年並以上の結果となり、生乳も前年の実績を超える生産となり、地域、作目によって違いはありますが概ね良い出来秋を迎えることが出来たと感じております。

しかしながら、昨年は、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、今までの日常とは大きく変化した1年でありました。農業分野においても例外ではなく各種イベントの自粛、外食・中食の需要減少等の影響により、各作物の更なる需給緩和が懸念されているところです。今後は作物ごとの実態を踏ま

えた、国産・道産農畜産物の需要喚起・消費拡大を図るとともに、外国人技能実習生が入国できないことにより、農作業の人材確保にも大きな影響が出ておりますので、北海道、全国連とも連携し、JAGグループ北海道としてしっかりとその対応を図ってまいります。

JAGグループ北海道では、昨年より道民の皆様に対し北海道農業から行動を起こすことで、農業と人、農村と都市、生産者と消費者の関係のあり方を見つめなおしていただくことを目的として「AGRI ACTION! HOKKAI D O (アグリアクション北海道)」と題した情報発信を北海道の支援もいただき、スタートいたしました。

「AGRI ACTION! HOKKAI D O」は次の3つのテーマを伝えることを目的としております。

①食料自給率に対する理解促進と行動変容の喚起

②農業には多様な働き方があるということの周知とより多くの方が農業に携わっていただき、将来的に農業を仕事の選択肢として考えてもらうこ

と(本業以外に副業として農業に親しむ人々を「パラレルノーカー」と命名)

③日頃から道産農畜産物を食している道民の皆様へ感謝を伝えること

本年は第29回JAG北海道大会の実践最終年であることから、この取組みと協同の力を梃子として「農業所得の増大」「多様な担い手の確保・育成」「食と農とでつながるサポーター550万人づくり」の目標達成に向けて、実践活動を強化してまいります。

結びになりますが、本年は辛丑年です。牛は古くから酪農や農業で人間を助けてくれた大切な動物でした。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢(耐える)」、「これから発展する前触れ」というような年になると伝えられております。この謂われにあやかり、新型コロナウイルスの1日も早い克服と皆様のご健勝、本年が豊穡の年となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



# 新しい年を迎えて

J A えんゆう 青年部

部長 福島 達也



新年あけましておめでとうござい  
ます。

令和三年の新春を迎え、青年部部  
員ならびに農業関係者の皆様には心  
よりお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、雪不足に  
よる農業用水不足などが懸念されて  
いましたが、さほど影響もなく、自  
然災害の被害も無く、農畜産物は平  
年以上の作柄を確保できた年であり  
ました。

しかし、全国で新型コロナウイルス  
による外出自粛要請の影響もあり、  
農畜産物の消費が落ち込み、価格が  
下落するのではないかと不安ではあり  
ましたが、北海道であれば鈴木知事  
をはじめとする行政の方々が消費環  
境を促したこともあり、私たちもな  
んとか無事に新年を迎える事ができ  
ました。

青年部の活動としましては、例年

実施していた上湧別小学校四年生を  
対象とした農業体験が新型コロナウ  
イルスの影響により臨時休校や授業  
の遅れが出たことから、中止とさせ  
て頂きました。他にも町主催の事業、  
農村ホームステイ事業、青年部と農  
協職員によるスポーツ交流会を予定  
しておりましたが、全て中止となり  
ました。

ただ、このような困難な状況下にお  
いても、来るべき活動再開の時に備  
え、青年部員との繋がりを希薄にせ  
ず、今後何ができるのか模索しなが  
ら、このコロナ禍でも力を合わせ、  
乗り切っていけます。

最後になりましたが、本年も関係  
機関各位、および部員各位の一層の  
御支援と御協力をお願い申し上げます。  
新年のご挨拶と致します。

# 新年のご挨拶

J A えんゆう 女性部

部長 松浦 三代紀



新年あけましておめでとうござい  
ます。

令和三年の新春を迎え、女性部員  
ならびにご家族の皆様には心よりお  
喜び申し上げます。

農協をはじめ、各農業機関・組合  
員の皆様には、日頃より女性部活動  
に御理解と御協力を頂き、感謝申し  
上げます。

昨年は、昨々年に中国で発生した  
新型コロナウイルス禍での、見えな  
い敵との戦いの一年間でした。食糧  
の生産現場で働く農家にとって、生  
活そのものには感染リスクは少ない  
ものの、外からの侵入者に怯える  
日々であったように思います。

外出自粛による観光・外食産業へ  
の影響は大きく、加えて学校の休校  
による給食中止など消費の落ち込み  
が続く、生産物は豊作にもかかわらず

物余り現象により価格が低迷し、  
収入減に追い込まれました。

女性部活動では、年度初めに合同  
役員会で計画致しました行事のほと  
んどが中止という形になり、残念で  
なりません。毎年あたり前にやって  
いた現地視察や勉強会・料理講習な  
どが、どれほど充実した生活の中で  
行われていたかを思い、今年こそ  
は・・・の思いを強くしております。

大変なコロナ禍の中ではあります  
が、生きていく上で農業という職業  
がどれほど大事かを、思い知らされ  
ております。部員の皆様も、誇りを  
持つて今年も農作業に取り組んで頂  
きたいと思えます。

本年も引き続き、各機関の皆様  
には、女性部への御指導と御協力をお  
願い申し上げます、新年の御挨拶とさせ  
て頂きます。



JAグループ北海道は、来年度以降においても、組合員の皆様が希望を持って営農できるよう、要請運動を展開してまいりました。9月末の概算要求決定前までの運動に加え、10月からはコロナ禍で需要が減少した作物への対策を求める運動を実施し、11月からは令和3年度農業関係予算や補正予算確保に向け、与党農林幹部や道内選出国會議員、農林水産省に対して働きかけを行いました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、例年どおりの要請とはなりませんでしたが、感染防止対策を講じた上での上京運動や議員会館や農林水産省と道内各地区をWEBで繋ぎ要請を実施するなど、コロナ禍ではありましたが最大限の対応を図り、道内生産現場の課題を伝えその解決策について提案をしてまいりました。

今後、要請内容や予算概要等の詳細は、JAグループ北海道農政NEWSウェブサイトに掲載しておりますので、ご確認願います。

○JAグループ北海道農政NEWSウェブサイト  
HPアドレス:<https://ja-dosanko.jp/nousei/>  
ID:nousei PASS:hokkaido



○LINEで友達登録していただくと、情勢等の更新情報をご連絡いたしますので、是非、登録願います。



自民党 宮下農林部会長への要請

## JA北海道信連



還付金詐欺等の特殊詐欺による被害は、依然として減っていない状況にあります。JAバンクでは、窓口・ATMでの声掛けを継続して被害防止に努めるほか、北海道警察と連携した啓発活動にも取り組んでいます。10月～12月の3か月間、STVラジオ番組の中に準レギュラーコーナーを設け、道警の担当者から特殊詐欺の手口や注意するポイント、日頃からの備えについてリスナーにお知らせしました。



## JA共済連北海道



JA共済では、『「特定重度疾病共済」資料請求キャンペーン』を実施しております。JA共済ホームページから「特定重度疾病共済」の資料をご請求いただいた方に、有村架純さん・浜辺美波さんが表紙の「オリジナルA5ノート」をもちろんプレゼントしております。キャンペーンは令和3年3月10日(水)までです。この機会にJA共済のホームページにアクセスいただけますようお願いしております！

JA共済ホームページアドレス

<https://www.ja-kyosai.or.jp/>



## ホクレン



ホクレンは、コーポレートメッセージ「つくる人を幸せに、食べる人を笑顔に」に込めた想いを伝えるオリジナルアニメーション「from North Field (フロム・ノース・フィールド)」の第2弾を制作、特設サイト

(<https://www.from-north-field.jp/>)などで公開を始めました。5歳の少年を主人公に、道内の酪農家から都会の食卓までの「生乳の旅」を分かりやすく紹介しています。



## JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。プレゼント付アンケートのコーナーもあり、1月末まで募集しております。

是非、JA北海道厚生連のホームページをご覧ください。アンケートへのご協力をお願い致します。



JAグループ北海道の連合会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

大地がひとを強くする。

# AGRIACTION!

HOKKAIDO



# 一日皆貯金

# 当選者発表

## 〈特賞〉 一万円 (五名)

上田 博・長谷川 誠・木村 則子  
安藤 英雄・工藤 努

## 〈金賞〉 五千元 (十五名)

岡村 英巳・山田 明・沢口産業(株)  
菅井 美和・後藤つや子・鹿野内 駿  
平井千江子・天野 英紀・岡村 貴幸  
塚田みどり・行 満美子・近藤さおり  
前島 英資・鬼束 啓子・村中 大地

## 〈銀賞〉 三千元 (三五名)

熊谷 草太・三品 明美・藤井トミ子  
松浦寿女子・天野 茂・山内三津子  
小崎 強・野村なおみ・狩野 智弘  
小林 洋子・篠原 清恵・板垣 桂子  
清水 琉偉・長谷川尚行・伊藤たま子  
森谷 柚月・平井 真紀・城岡 幸枝  
上田 カズ・竹中 修平・岡村 柚奈  
小石澤佳奈・芳賀 幸子・高橋 哲夫  
御園 実璃・加藤 光隆・小林 昌樹  
森谷 香織・荘司 由美・岡崎 厚子  
高木 勝喜・小倉 福子・佐藤 洋子

西塚 順子・大辻 等則

## 〈銅賞〉 一千元 (百名)

藤井 正博・鈴木 勝義・小崎 勝敏  
藤井 勝美・松浦三代紀・鈴木 光枝  
八巻 貴子・塚本トヨノ・志鎌 哲雄  
高柳 千鶴・中川 永子・堀下 英樹  
須藤 正子・高桑 美恵・森谷 大勝  
森 学・馬場 美岬・花木 彩音  
吉村 諄郎・佐藤真央美・有馬 花子  
菅井 潤・中川 郁子・名取希乃佳  
戸田 悦子・阿部 和彦・天野 史悠  
中川 秀子・清水 香蓮・馬場 智江  
馬場 咲子・三品 敏子・小崎 智子  
上松咲穂奈・中西 藤江・大川 久子  
長谷川拓哉・植村亜希子・石田 弘幸  
秦野とみえ・稲田 由美・宮越 晴美  
大崎 恵美・松田 信一・松浦素美子  
会田美津子・宮嶋 優彩・上松 拓実  
石田 則夫・山田 英夫・吉村 智之  
志賀かをる・坂井よしゑ・木村 琉楓  
野田 健斗・加賀屋桜子・澤村 麻紀  
岡村 愛子・菊地 敏子・桜井 忠則  
長谷川まどか・櫻井 昌子・大江 栄子  
秋葉江里子・井上 涼子・松田 秀則

木村 隆児・小森 節子・伊豆田國雄  
吉田 真菜・山口 蔵壘・前田 陽子  
山口 良光・太田紀英子・市原 静江  
荒井 芳子・高橋喜代子・渡辺 勝則  
笹原かほり・加賀屋公美・草野まゆみ  
平山紀美江・山下めぐみ・西村 祐美  
千葉まゆみ・高良喜美子・菅野 恵子  
中馬 歩・鹿又 博一・松田 恒平  
井上 春美・田中 福代・大熊 佳代  
山木 真理・益山 陽菜・西原 勝義  
高橋 玲子・大嶋 歩翔・工藤たか子  
平塚由美子

(順不同・敬称略。お名前に誤字等ございましたら、ご了承願います。)

当選された皆様、大変おめでとうございませう。賞金につきましては、一月末日までに貯金口座に入金いたしますのでご確認ください。また、当選された方にはあらためて文書にてご通知申し上げます。

当JAは、今年も皆様のお役に立てる金融機関として貯金業務はもちろん相談業務充実をはかり、皆様のご利用をお待ち申し上げております。





# SMSで届く架空請求にご注意!

スマートフォンでのSMS（電話番号を宛先にしてメッセージをやりとりするサービス）を利用した架空請求トラブルが増えています。

【事例】スマートフォンに「料金が未納だ。本日まで連絡がない場合は法的手続きに移行する」というSMSが届いた。本文には大手通販サイトの業者名が書いてあった。身に覚えはなかったが、心配になり電話をした。名前と生年月日を伝えると「昨年あなたが加入した有料コンテンツ料29万8000円が未納だ。コンビニエンストアでプリペイド型電子マネーを買って支払うように」と言われた。指示通り購入し、カード裏面のコード番号を電話で伝えた。すると「別のコンテンツ料金の未納も見つかった」と言われ再び請求された。おかしいと思わずに



電話を切った。どうしたら良いか。

実在する大手通販サイト業者、債権回収業者などがかたつて未納料金を求める架空請求トラブルの相談が増えています。SMS本文に個人情報、報の記載はなく、不特定多数の人にランダムに送信していると考えられます。一方、相談者が購入したのはサーバー型のプリペイド型電子マネーです。裏面に記載されたコード番号の情報を入手すれば、誰でもインターネット上でその電子マネー相当額を使用できます。使用者の情報が特定されにくいことから、詐欺業者に悪用されていると考えられます。

被害に遭ったら、速やかにプリペイドカード発行会社に連絡しましょう。ただし、詐欺業者はコード番号の情報を入手すると、すぐに使用してしまう可能性があります。残高が残っていないければ被害回復は困難です。

実在する業者名でSMSが届いても、覚えがなければ慌てて電話をしましょう。万一、電話をしてしまったら、着信拒否設定や迷惑メール防止対策設定などで今後の被害を防ぐようにしましょう。

# 地上

## 地域農業の担い手、JA青年組織盟友を応援する雑誌

### 好評連載企画

盟友たちの夢と挑戦

現場発! 盟YOU 伝

若きリーダーの背中

恋農 age

利那の濃度

心を動かす! 販促の極意

高橋博之の 都市と地方を行き来して

生産者と消費者がそれぞれの強みでそれぞれの弱みを補い合う「連帯する社会」をめざして活動するインフルエンサーの提言。

実際に農家の経営に参画する「改善のプロ」が、実例を交えながら、農業経営改善のちょっとした工夫を伝えます。

佐川互達の 農業経営プチ改善

### タイムリーな特集・特別企画

● 毎月、特集や特別企画の中でページ別に

【話し合ってみよう】を新設

※記事を読んでみんなで意見を話し合おうかけにしてください

読者と編集部が交流するフェイスブック

地上 Facebook

JAグループ 家の光協会  
〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11  
TEL.03-3266-9039 <http://www.ienuhikari.net>

# いまの農業・農政・JAがわかる!

## JA青年組織のグループ学習会にもうってつけ!

全国の盟友たちの情報

食料自給率37%の意味

農業・地域・JAを担うリーダーの雑誌

年2回の別冊付録は一つのテーマを掘り下げ、わかりやすく解説

お申し込みは お近くのJA本・支店(所)へ

定価 ● 普通月号 618円  
● 付録月号(4・11月号) 680円

# 賀正

昨年中はご愛顧を賜り

厚く御礼申し上げます。

本年も旧に倍しての御愛顧の程

宜しくお願い申し上げます。

社員一同、皆様の御用命を

心よりお待ちしております。

令和三年 元旦

(株)ジエーエーえんゆう

燃料事業部

農機・整備事業部

エコープ事業部

## 令和3年度 営農計画作成支援日程

本所(会場：本所 大会議室)・遠軽地区(会場：遠軽支所 大会議室)

日程	曜日	午前9時～午後12時	午後1時～午後4時
1月18日	月	開盛・札富美・旭	
1月19日	火	富美・上富美	
1月20日	水	北兵村二区・三区	北兵村一区
1月22日	金	屯田市街地	南兵村二区
1月25日	月	南兵村一区	南兵村三区
1月26日	火	千代田・社名淵・美山・若松・丸瀬布地区	
1月27日	水	学田・向遠軽・豊里・清川	
1月28日	木	栄野・瀬戸瀬・湯の里・若咲内	

※協議日程の都合が悪い方は、別会場・別時間でも参加可能です。  
但し、別会場希望の方は、事前に担当者までご連絡お願い致します。  
尚、日程が変更になる場合は、都度連絡申し上げます。

●白滝・生田原地区につきましては、1月8日以降、個別にご連絡させていただきます。